MITSUBISHI　三菱電機パッケージエアコン別売部品

※取付け前に本説明書と室内ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

形名　PAC-SE84DM〔天吊Gタイプ　J40～J50形〕
　　PAC-SE85DM〔天吊Gタイプ　J56～J90形〕
　　PAC-SE86DM〔天吊Gタイプ　J100～J160形〕

ドレンアップメカ取付説明書

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤って取付けをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取付けをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明し、本書をお渡しください。
- この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。
　また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

●取付け（移設）・電気工事をする前に

⚠警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

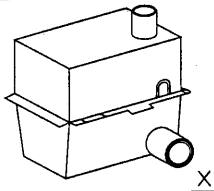
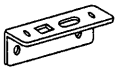
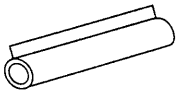
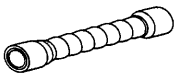
⚠注意	冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行なう。 不完全な断熱工事を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

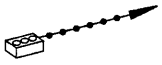
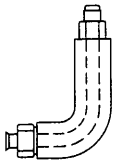
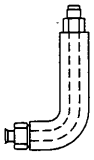
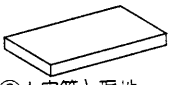
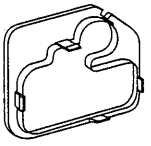
⚠警告	取付けは、この取付説明書に従って確実に行なう。 取付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

⚠注意	ドレン配管は、取付説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因となります。

1.付属部品のご確認

※下記部品が付属されておりますので、取付け前に確認ください。

①ドレンアップメカ	②アタッチメント	③ネジ（4×10）	④VP-20管	⑤パイプカバー	⑥フレキシブルホース
 ×1	 ①ドレンアップメカ取付用金具 ×1	①ドレンアップメカ取付用 ×6	×1	 ④VP-20管 断熱用 ×1	 ×1

⑦ファスナー	⑧L字管（ガス管）	⑨L字管（液管）	⑩断熱材A	⑪断熱材B	⑫後面穴カバー
 ×2	 ×1	 ×1	6t×220×80（内側巻付用）  ⑧⑨L字管と現地配管断熱用 ×2	3t×250×120（外側巻付用） ⑧⑨L字管と現地配管断熱用 ×2	 ×1

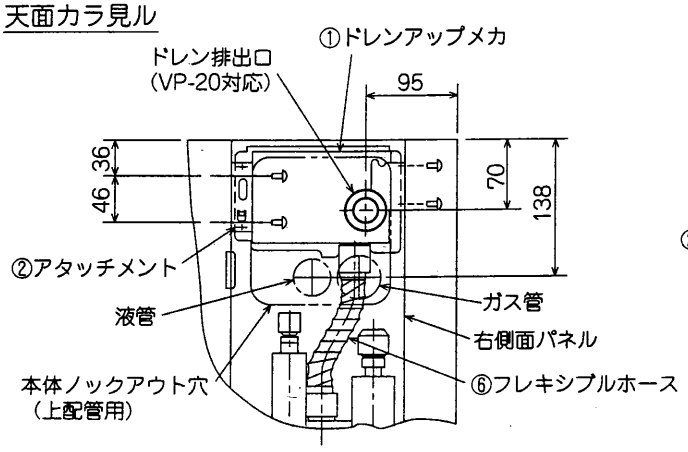
BB79A966H02

2.ドレンアップメカ取付け状態図

単位（mm）

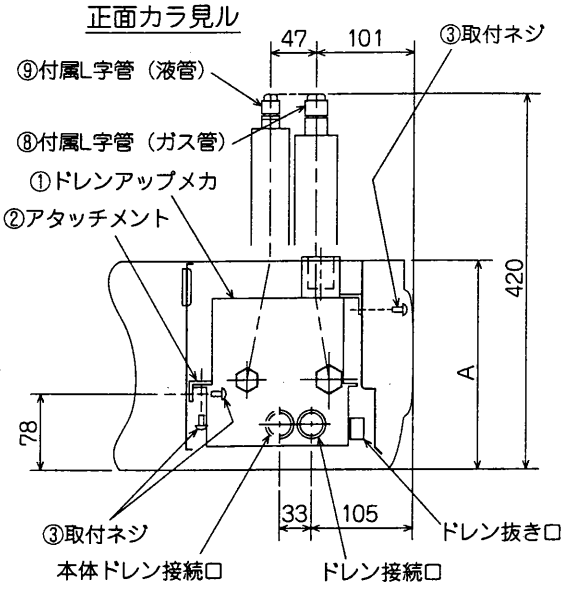
- このドレンアップメカは、室内ユニット内部に取付けて使用するものです。
- ドレンアップメカ取付けにより、ドレン配管・冷媒配管共に上側の取出しとなります。
- ドレンアップメカ取付けは、室内ユニットを吊り込む前に行なう方が容易にできます。

天面カラ見ル

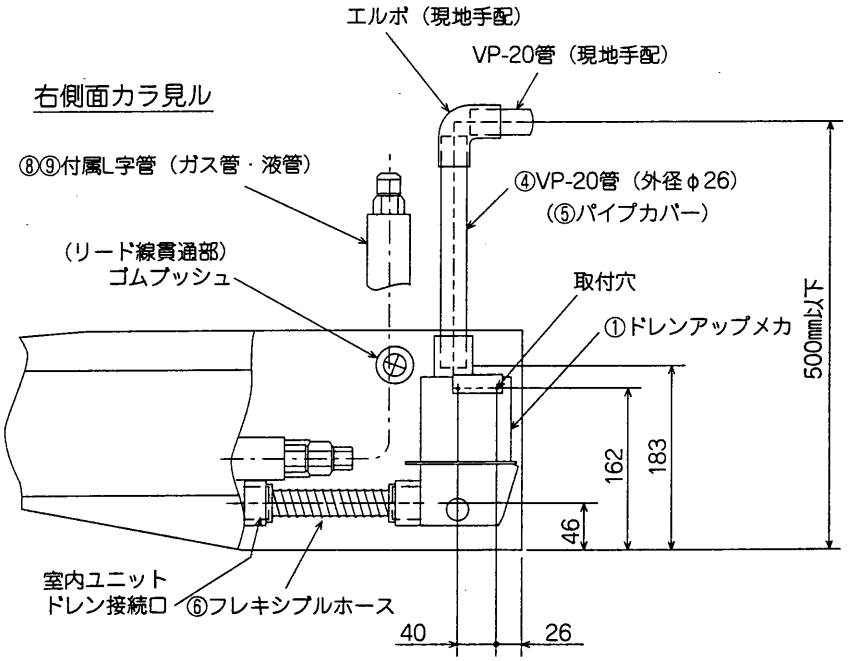


	ガス管	液 管	A	ドレンアップメカ形名
J40～J50形	φ12.7	φ6.35	210	PAC-SE84DM
J56～J80形	φ15.88	φ9.52	210	PAC-SE85DM
J90形	φ15.88	φ9.52	270	PAC-SE85DM
J100～J160形	φ19.05	φ9.52	270	PAC-SE86DM

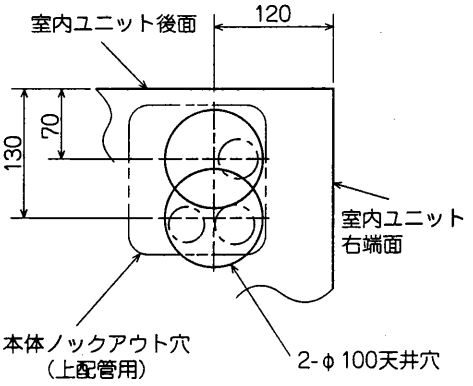
正面カラ見ル



右側面カラ見ル

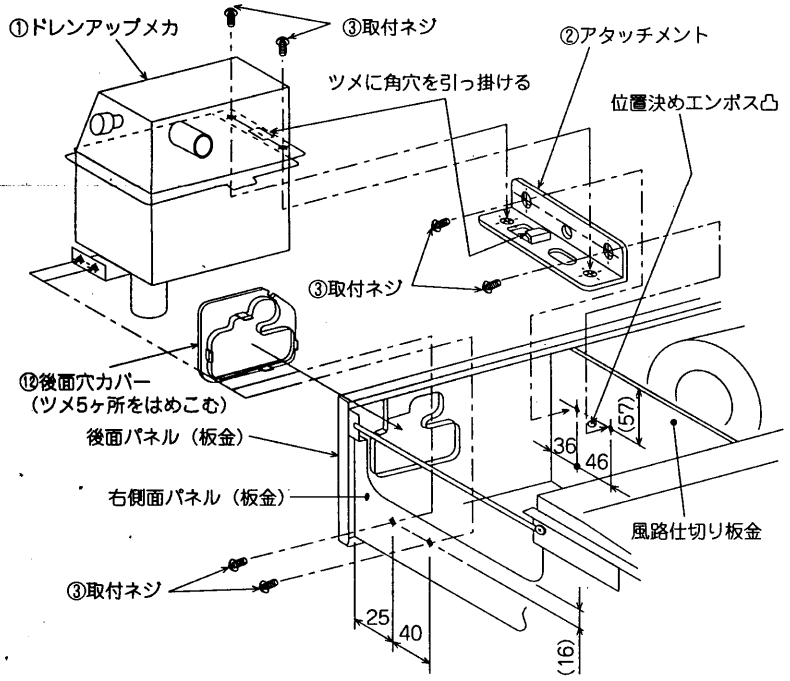


天井穴位置



3.ドレンアップメカ取付け

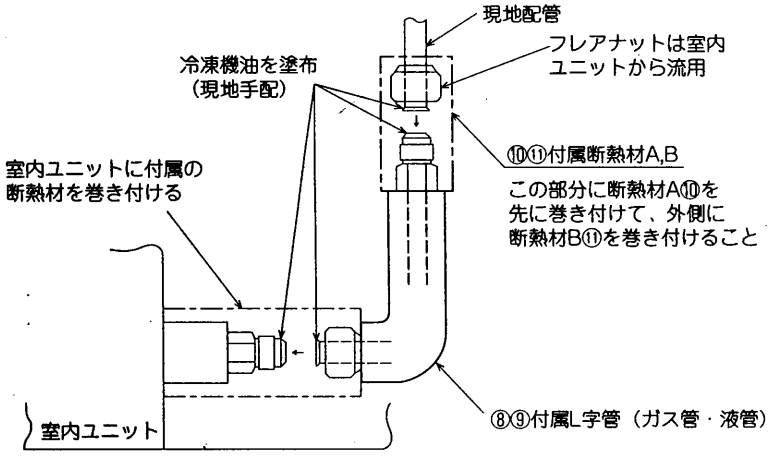
1.吸込グリルとサイドパネルを取外す（室内ユニットの据付工事説明書を参照）
2.室内ユニットの上配管用ノックアウト穴を開ける
3.付属アタッチメント②を取付ネジ③（2本）で固定
4.ドレンアップメカ①を取付ネジ③（4本）で固定
5.後面パネルの配管穴に後面穴カバー⑫を取付ける



4.冷媒配管工事

＊配管手順詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照ください。

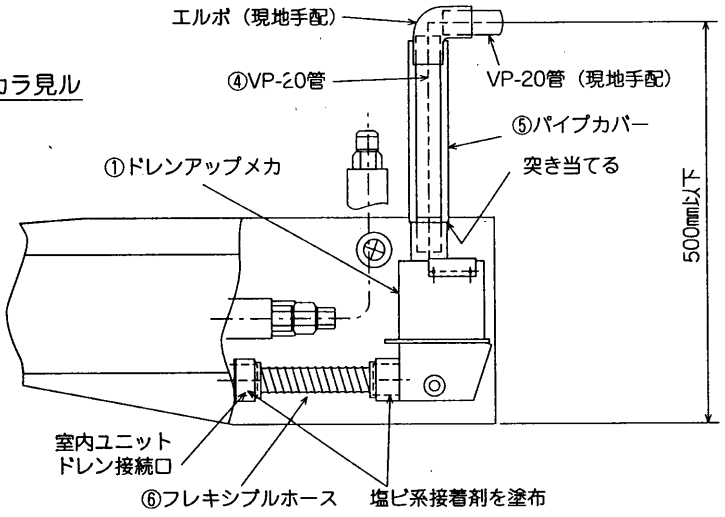
【室外ユニットのストップバルブは全閉のまま】
1.付属のL字管（ガス管、液管）⑧⑨のフレアシート面に冷凍機油を塗布する
2.室内ユニットのフレアナット及びキャップを取外す
3.室内ユニット側接続部のフレアシート面に冷凍機油を塗布する
4.付属のL字管（ガス管、液管）⑧⑨を素早く接続
5.現地配管に取外したフレアナットをはめてフレア加工する
6.現地配管と付属のL字管も同様に接続する
7.各接続部に断熱材を巻き付ける
【冷媒回路完成後】
8.室外ユニットのストップバルブサービスポート口から真空引きを行なう
9.上記ストップバルブ（液、ガス共）を全開にする
＊ストップバルブの取扱い方は、室外ユニットに表示してあります。



5.ドレン配管工事（ドレン揚程は室内ユニット下面より500mm迄）

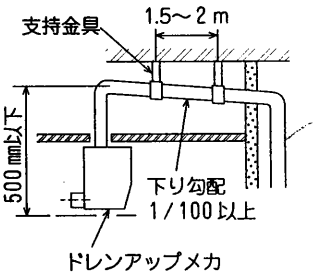
1.付属VP-20管④をドレンアップメカ①のドレン吐出口に塩ビ系接着剤を塗布して差し込む（差し込み代　30mm）
2.付属VP-20管④と現地ドレン配管を90°エルボ等を使用し接着固定する
3.付属パイプカバー⑤をVP-20管④に巻く
4.付属フレキシブルホース⑥をドレンアップメカ①と室内ユニットドレン接続口に塩ビ系接着剤を塗布してねじれないように差し込む

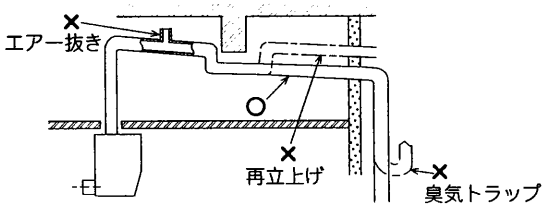
＊ドレンアップメカから外部に至るその間で、ドレン配管は全て断熱を施してください。

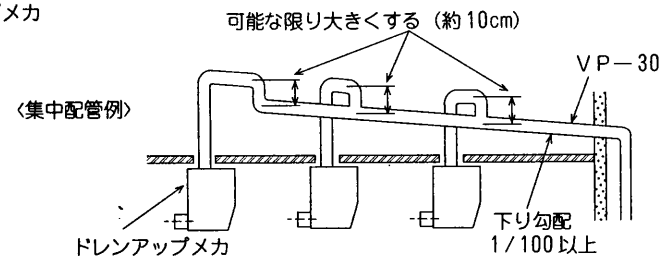


【ドレン配管工事は下記項目を厳守してください】

- ドレン揚程は、室内ユニット下面より500mm以下としてください。
- 排水側（室外側）が下り勾配（1/100以上）としてください。
- 途中にトラップや山越えを作らないでください。
- 横引きは、20m以下にしてください。また、途中に支持金具等を設けて波打ちを無くしてください。
- エア抜き管は、絶対につけないでください。ドレンが吹き出る恐れがあります。
- 硬質塩ビパイプ一般管VP-20（外径φ26）を使用し、接続部は塩ビ系接着剤を塗布して漏れのないようにしてください。
- 市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重0.03/肉厚9mm以上）を巻いてください。
- 排水口部の臭気トラップは設けないでください。
- 配管の出口は、臭気の発生する恐れのない場所としてください。
- 配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。
- 集合配管はVP-30程度としてください。また、ドレンアップメカから立上げた配管の出口部より約10cm低い位置に集合配管がくるように施工してください。



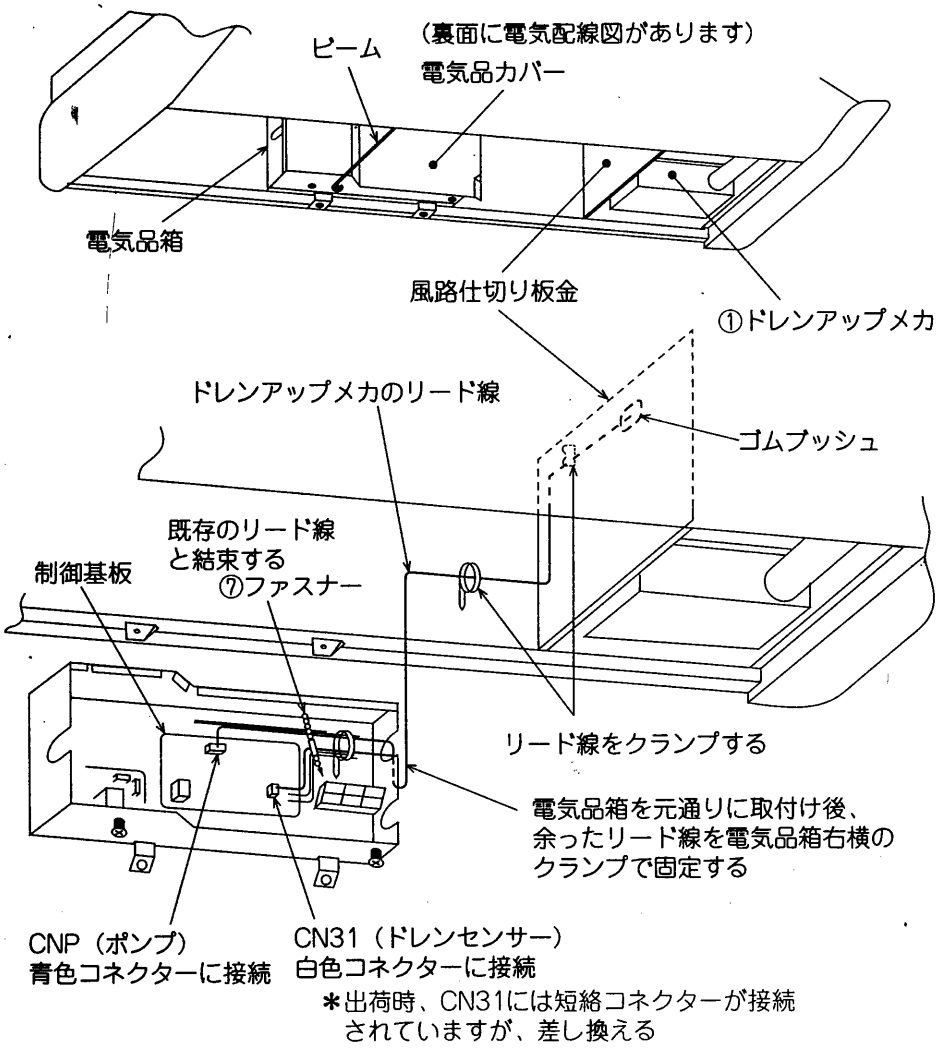




6.電気配線工事

＊室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照ください。
＊電源がOFFであることを確認して作業してください。

1.ビームを取外す
2.電気品カバーを取外す
3.電気品箱を下に引き降ろす
4.ドレンアップメカ①のリード線を、風路仕切り板金のゴムブッシュから貫通させる
5.室内ユニット制御基板のCNP,CN31コネクターに各リード線を接続する
6.電気品箱内でリード線がばらつかないように付属のファスナー⑦で結束する
7.電気配線工事が完了したら電気品箱、カバー、ビーム等を元通りに取付ける



＊出荷時、CN31には短絡コネクターが接続されていますが、差し換える

＊機種シリーズにより制御基板に接続するコネクターの位置が上図と異なる場合がありますが、確実に、CNP,CN31コネクターに接続してください。

7.試運転

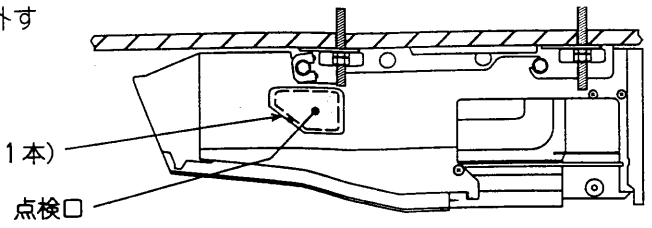
＊試運転により排水が確実に行なわれていること・各接続部からの水漏れのないことを確認してください。

＊室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照してください。

1.注水作業

〈1〉右側面パネル（板金）の点検パネルを取外す

〈2〉点検口より約1000cc注水する



2.試運転

〈1〉電源を入れる

〈2〉リモコンの試運転ボタンを2度押す

〈3〉リモコンの運転切換ボタンを押して冷房にする

＊ドレンアップメカが作動して排水します

〈4〉排水確認する

〈5〉リモコンの運転／停止ボタンを押して試運転を解除する

〈6〉電源を切る

3.確認後、部品を元通りに取付ける

＊暖房シーズンにドレンアップメカを取付けた場合は、
必ずドレン抜きを行なってください。
また、ドレン抜き完了後はドレンプラグを
元通りに差し込んでください。